

科目名	身体障害治療学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間	2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期
							2年 前期
【授業の目的・ねらい】 作業療法で扱う主たる疾患の特徴について理解し、作業療法現場での評価や治療について学習する。							
【実務者経験】 県立病院で20年勤め、その他一般病院、デイサービス、訪問リハビリなどでも勤務。身体障害領域の急性期から維持期まで幅広いリハビリテーションに従事している。							
【授業全体の内容の概要】 講義およびグループでのディスカッションを通じて、作業療法における治療学の基礎を学ぶ							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 作業療法で扱う疾患の特徴と評価、治療の概要を説明することができる							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	身体障害治療学概論						教科書
2	脳血管障害①						教科書
3	脳血管障害②						教科書
4	脳血管障害③						教科書
5	脊髄損傷						教科書
6	手の骨折						教科書
7	末梢神経損傷						教科書
8	心・呼吸器疾患						教科書
9	関節リウマチ						教科書
10	パーキンソン病						教科書
11	脊髄小脳変性症・ギランバレー症候群						教科書
12	多発性硬化症						教科書
13	筋萎縮性側索硬化症						教科書
14	筋ジストロフィー						教科書
15	ターミナルケア						教科書
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 作業療法学ゴールドマスターテキスト改訂第2版身体障害作業療法学 配布資料							
【準備学習・時間外学習】							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期筆記試験を100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							